

政策整理番号	22	施策番号	5	評価シート(B) (施策評価: 施策を構成する事業の評価)			
対象年度	H18	作成部課室	総務部 県立大学室	関係部課室			
政策名	個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進				政策番号	3 - 7 - 1	
施策番号	5	施策名	大学等高等教育の充実				
施策概要	高度な専門知識や技術を持つ人材の育成により、地域社会や地域経済の発展、学術研究の振興を図るため、大学等の高等教育の充実を進めます。						
政策評価指標 / 達成度	県立大学卒業生の就職率		A				

達成度: A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)
 C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している), ... (現状値が把握できない等のため判定不能)

施策を構成する事業の分析

活動(事業) / 活動(事業)によりもたらされた結果							活動(事業)によりもたらされた成果					
事業番号	事業名 [担当課]	事業の対象 (誰・何を対象として)	事業の手段 (内容) (何をしたのか)	業績指標名 (単位) <small>(事業の活動量、「事業の手段」に対応)</small>	H16	H17	H18	事業の目的 (意図) <small>(対象をどういう状態にしたのか)</small>	成果指標名 (単位) <small>(事業の成果、「事業の目的」に対応)</small>	H16	H17	H18
					業績指標の値					成果指標の値		
					事業費 (決算(見込)額, 千円)							
					単位当たり事業費(千円)							
1	宮城大学新学部設置事業 [県立大学室]	環境の時代21世紀に「食」と「農」と「環境」の未来を拓くスペシャリストの養成を事業の対象としている。	宮城大学に、第3学部として食産業学部を設置した。	食産業学部の出願倍率(倍率=出願者数/定員)(%)	442,947	2,940,425	2,847,676	地域や国、そして世界を安定して発展させるために欠かせない食産業をささえ、かつ発展させるようなビジネスリーダーを育成する	食産業学部の卒業生数	-	0	0
2												
3												
4												
5												
事業費計(千円)					442,947	2,940,425	2,847,676					

政策評価指標分析カード(整理番号1)

政策整理番号

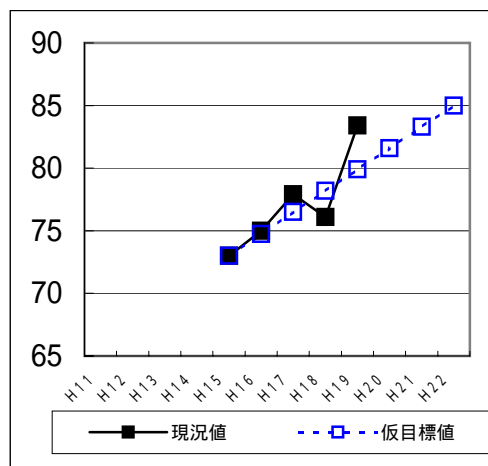
22

施策番号

5

対象年度	H18	作成部課室	総務部 県立大学室	関係部課室	
政策名	個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進			政策番号	3 - 7 - 1
施策番号	5	施策名	大学等高等教育の充実		

政策評価指標		単位						
県立大学卒業生の就職率		%						
目標値	H17	76.5	H22	85				
評価年	初期値	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
測定年	H15			H15	H16	H17	H18	H19
現況値	73.0			73.0	75.0	77.9	76.1	83.4
仮目標値					74.8	76.5	78.2	79.9
達成度				...	A	A	B	A



達成度:A(目標値を達成している), B(目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す方向に推移している)
 C(目標値を達成しておらず、設定時の値からみて指標が目指す方向と逆方法に推移している), ... (現状値が把握できない等のため判定不能)

政策評価指標の概要

県立大学卒業生のうち、就職内定者の割合(5月1日現在)

政策評価指標の選定理由

・宮城大学は、学術文化の振興、知性と人間性を備えた人材の育成により、地域産業及び社会の発展に寄与することを目的に掲げ、「高度な実学」と「人間性」を身につけた人材を社会に送り出すことを基本理念としている。
 ・したがって、政策評価指標としては、本学の教育研究により社会が求める人材が育成され、いかに多くの卒業生が社会に受け入れられるかという観点から、「県立大学卒業生の就職率」(大学院などへの進学者を含む全卒業生のうちの就職者の割合)とした。

達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し

・達成の背景
 大学に設置されている「キャリア開発室」が提供する豊富な各種就職情報や充実した就職ガイダンスやセミナーの開催に加え、キャリア開発室の専門キャリアカウンセラーが行う学生一人ひとりに対する丁寧な相談など、学生に対する進路指導が充実している。また、看護学部では、「キャリアガイダンス」を通じて国家試験対策を含めたきめ細かな進路選択をバックアップし、事業構想学部でも、全国に先駆けて「キャリア開発」を必修科目として、キャリアの概念から自分のキャリアプラン作成までを論理的に学んでいる。加えて、社会情勢も、景気回復や団塊世代の大量退職に伴う企業等の人材確保意欲が高まっている。以上のような状況から、政策評価指標「県立大学卒業生の就職率」は、目標を達成できた。
 ・今後の見通し
 平成17年4月に新設した「食産業学部」では、平成21年3月に第一期生が卒業する。大学全体の卒業生の約30%を占める食産業学部の動向が大きく影響すると思われる。企業・公共団体等の新たな学部へ寄せる期待の大きさが計り知れないが、食産業学部でも教職員一丸となって学生指導に当たっており、現状程度は確保できると思われる。なお、「宮城大学新学部設置事業」は、平成18年度で終了した。

政策評価指標の妥当性【施策の有効性を評価する上で適切な指標か】

・県立大学卒業生の就職率は、その時期の社会情勢などの影響を受けることから、必ずしも意図する方向性を示さない場合もある。
 ・しかしながら県高等教育機関として県立大学を設置する意義は、地域社会に貢献できる人材を育成し、地域の学術文化の向上と豊かで活力ある地域社会の形成であることから、卒業生が社会に受け入れられるかという尺度としては有効である。

